

～枕崎市教育委員会だより～



**TEAMまくらざき**

**発行 枕崎市教育委員会**  
**枕崎市中央町 184 番地**  
**TEL 0993-72-0170**  
**FAX 0993-72-0677**

## 巻頭言

## 「旬」

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

今年も福岡の知人から柿が届いた。知人の本業は教員だが、先祖代々の柿農家を受け継ぎ、ＪＡにも出荷している。「福岡県は柿の生産量国内第３位なんだ」が口癖で、自分が育てている「富有柿」に誇りを持っている。今年の柿は、暑さが長く続いたため、できればは良くないとのことだったが、皮をむくとふんわりと甘い香りが広がり、口に入れると爽やかで優しい味がした。柿は果物の中で私にとって一番の好物だ。その柿は今、まさに旬である。

さて、60 歳も半ばになると、元気のあった新規採用時から中堅といわれるぐらいの頃までの自分が懐かしくなる。若い頃は夜遅くまで起きていても何ともなかったのに、今では根を詰めると疲れが取れるまでに何日もかかる。また、昔は難しいこともスムーズに記憶できていたのに、今では記憶に時間がかかり、その割にすぐに忘れてしまう。

人は誰でも、歳を重ねるにつれ、それまで容易にできていたことが徐々にできなくなってくる。しかしその一方で、歳を取り多くの経験を累積していくなかで理解できるようになったり、見えるようになったりすることも増していく。したがって、歳を重ねた今だからこそ初めてできることも、たくさん生まれているはずである。

人が輝くのは若い頃だけではない。年齢を重ねるうちに、静かに、確かにやってくる躍動の時期がある。長い時間を通して蓄えた思いや経験が、ある日ふと実を結び、その人にふさわしい味わいとなって表れる瞬間があり、派手には見えなくても、自分の中で確かに灯る火がある。歳をとったからこそ生まれる躍動、深まりゆく自分の色、それこそが人の旬の姿なのかもしれない。

この歳になって、できるとか、できないとかで喜んだり、落ち込んだりする必要はないと思う。海の幸や山の幸などに旬があるように、人間の生涯の中にも何かを行うのに絶好の時機があるのではないか。そういったものを、その時どきの自分にとっての旬ととらえ、今しかできないこと、今だからできることの時機を逃すことなく、それに懸命に取り組んでいくことが肝要なことなのだと思う。そこから、それまでできないと思っていたことを可能にしたり、新たな気持ちで挑戦したりする力がきつと、湧き上がってくるに違いない。

ところで、知人には申し訳ないが、柿が十分に熟し、ふわふわになるまで待って食すのが私の好きな食べ方だ。ヘタの反対側に少し切れ目を入れ、そこから皮を破らないようにスプーンを差し込んでとろける果実をゆっくり味わいながら食べる。食べる時期は年をまたいで正月以降になるが、柿は硬い時よりもうんと甘くなりこれも、また旬である。私にとって柿は、硬いときだけが旬ではない。十分に熟してふわふわになるまで待って味わうことも旬となる。今年も年明けまで待って富有柿を味わい尽くしたい。

～今年もお世話になりました。皆さま、良い年をお迎えください。～

1月の行事予定		
日	曜	行事
1	木	元日 市民会館・地区公民館・図書館休館日
2	金	市民会館・地区公民館・図書館休館日
3	土	二十歳のつどい 市民会館・地区公民館・図書館休館日
4	日	地区公民館休館日
5	月	仕事始め・図書館休館日 教育委員会課長会
6	火	定例教育委員会
7	水	
8	木	小・中学校始業式・3学期給食開始 金山地区高齢者学級1月講座
9	金	立神地区高齢者学級1月講座 第2回南薩地区子ども会育成連絡協議会運営委員会 (指宿市なのはな館) 南薩地区学校保健・安全研究大会(南さつま市)
10	土	
11	日	第3回読み聞かせボランティアグループ連絡会
12	月	成人の日
13	火	図書館休館日 鹿児島学力・学習状況調査(小5:国・理)
14	水	鹿児島学力・学習状況調査(小5:社・算) 地区館連絡会⑩
15	木	鹿児島学力・学習状況調査(中1:国・理) 南薩地区社会教育・社会体育行事調整会
16	金	市民あいさつ運動 鹿児島学力・学習状況調査(中1:英・数・社)
17	土	青少年育成の日 青少年講座「勉学の進歩こう会」
18	日	家庭の日・市民会館休館日
19	月	図書館休館日
20	火	鹿児島学力・学習状況調査(中2:理・国)
21	水	鹿児島学力・学習状況調査(中2:社・英・数) 市幼・保・小連携研修会、中生連常任委員会③ 枕崎高等学校総合学科発表会
22	木	第4回事務職員研修会・館内整理日(図書館) 第62回地区道路保障研究会(ふれあい加世田)
23	金	県道徳教育フォーラム(自治会館)
24	土	県PTA活動研究委嘱公開(加世田小、金峰学園、いにしへホール) 全国学校給食週間(～30日)
25	日	かつおランニングDAY
26	月	図書館休館日
27	火	南薩地区教育論文審査会
28	水	子供の移動経路・通学路等の安全推進会議②
29	木	市学校図書館司書研修会③ 市生徒指導主任等研修会③ 課題別研究会「部落問題学習」(鹿児島市) 南薩地区フレッシュ研修研究授業研修(特別活動) (南九州市)
30	金	市学校給食担当者研修会 調査研究発表会
31	土	

## 教頭研修会における演習「生徒指導」

12 月 17 日に第 6 回市教頭研修会を開催しました。その中で、事前に各学校において児童生徒に意識調査（「学校は楽しいですか」「みんなで何かをすることは楽しいですか」「授業に主体的に取り組んでいますか」「授業は分かりますか」の 4 観点）を行い、その結果を基にして強肯定評価「当てはまる」の割合を増やすために、児童生徒の成長を支える教師がどのような取組を行うべきかについて、教頭先生方が対話をしながら具体策を検討する時間を設定しました。

各学年の児童生徒の実態に合わせて取組を行うとともに、小中連携の視点から校区間で共通した取組を行うことが大切であると感じました。

## 別府中 グローバルクラスルームの取組について

別府中学校は、県の事業である「教室から世界へ！かごしまグローバルクラスルーム事業」に応募し、英語を第二言語として学習している台湾の学校と交流を重ねてきました。9 月末に、2 年生の板敷未央さんが、県内の他の中学校の代表生徒と共に台湾を訪問し、現地の学生から台湾の人々の暮らしや考え方など、多くのことを学んで帰国しました。10 月の文化祭では、この研修について英語によるプレゼンテーションを行い、3 学期には、校区内発表会で別府小の子供たちに台湾の魅力を伝えることを予定しています。

また、校内においては、10 月から 12 月までの間に台湾の学校と別府中学校とをオンラインで 4 回結び、英語で自己紹介や学校紹介をし、それぞれの街の魅力について伝え合う活動を実施しました。活動の中で、生徒たちは、英語で説明するために熱心に練習を行い、お互いの文化を伝え、理解し合うことにチャレンジする姿が見られました。また、英語でうまく伝えられない場面では、ジェスチャーや知っている英単語を使うなど試行錯誤しながら必死に思いを伝えようとする様子が見られ、英語を使う意欲を感じることができました。今後、英語やその他の言語を活用してコミュニケーションをとる必要性が増えてくると想定されます。お互いを尊重し生活しやすい枕崎となるよう、みんなで子供たちを育成していきましょう。



## 冬季休業中の過ごし方について

～枕崎市校外生活指導連絡会 申し合わせ事項の徹底～

年末年始のこの時期は、クリスマスやお正月といったイベント事が多くあり、子供も大人もワクワクする気持ちが晴れやかになる時期となります。この時期であるからこそ、気持ちを引き締め、事件や事故に巻き込まれず、子供たちが 3 学期をスムーズに迎えられるために、「なぜ校外生活指導連絡会の申し合わせ事項が設定されているのか」「なぜ小・中学生だけの遊技場への出入りが制限されているのか」などについて子供たちと一緒に考え、生徒指導事案の未然防止への協力をお願いいたします。皆様にとりまして、新しい年が素晴らしい一年となるよう心より祈念いたします。



## 「二十歳のつどい」に向けた取組の様子

来たる 1 月 3 日(土)に実施される「二十歳のつどい」に向けて、10 月からこれまで 4 回の実行委員会を開催し、実施に向けて準備してきました。

各校区から 2 人ずつ選出された実行委員会のメンバーが式やイベントについて話し合ったり、式で実際に使用するスライドショーを作成したりしてきました。お世話になった恩師の先生方のメッセージも全て集まり、残すはリハーサルと本番のみとなりました。

大人への第一歩にふさわしい式になるように実行委員を中心に頑張ってくれることを期待しています。

